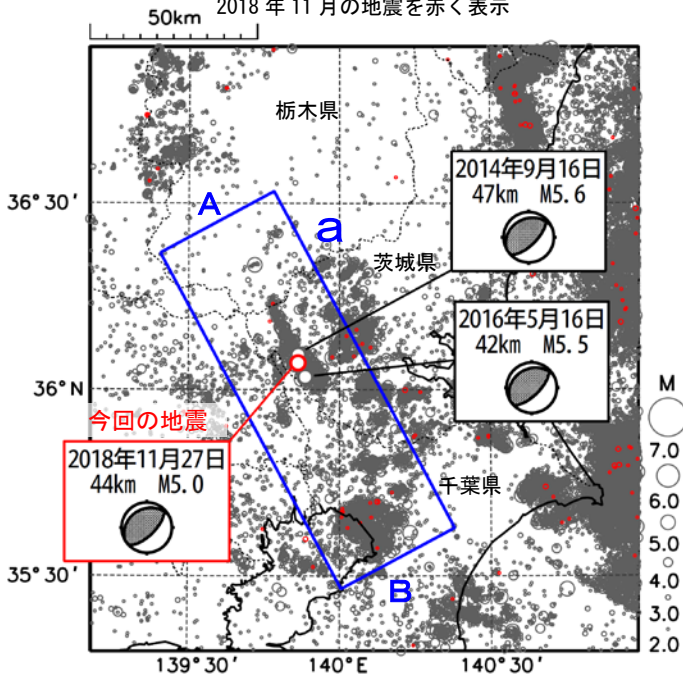


11月27日 茨城県南部の地震

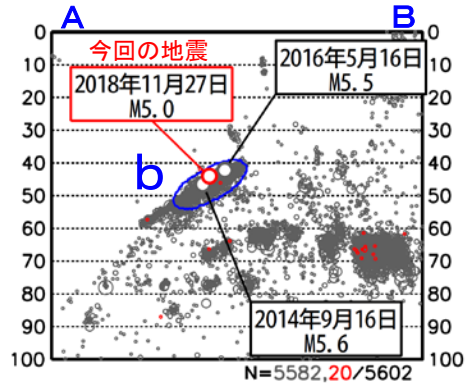
震央分布図

(1997年10月1日~2018年11月30日、
深さ0~100km、 $M \geq 2.0$)

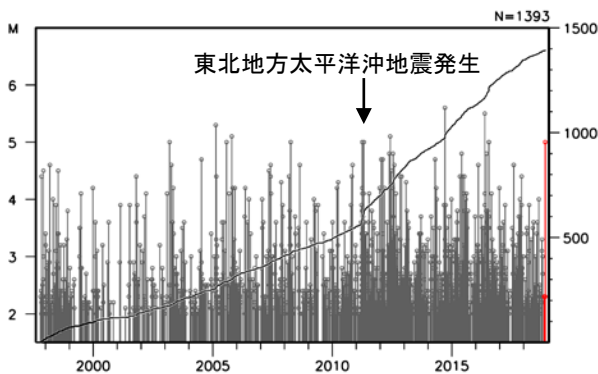
2018年11月の地震を赤く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



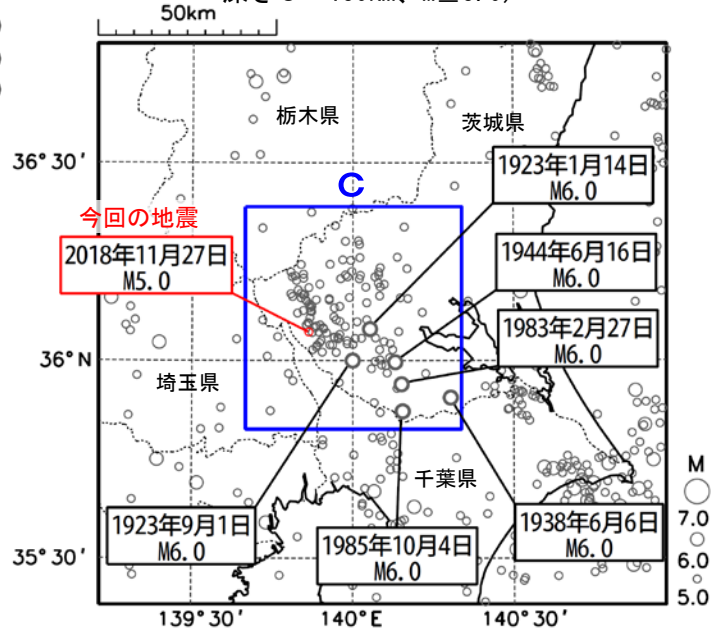
2018年11月27日08時33分に茨城県南部の深さ44kmでM5.0の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、活動が活発な領域で、M5程度の地震がしばしば発生しており、東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動がより活発になった。最近では2016年5月16日にM5.5の地震(最大震度5弱)が発生し、茨城県で負傷者1人の被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域c)では、M6程度の地震が時々発生している。

震央分布図

(1923年1月1日~2018年11月30日、
深さ0~150km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

